

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表



法人名	銘苅合同会社	代表者	長堂 和男	法人・事業所の特徴	住宅地の民家をリフォームした小さな事業所であり、近所の方やボランティアの方が気軽に訪れている。事業所は自治会の開催するイベントに積極的に参加・事業所内の厨房で一人一人の要望や嗜好力に合わせた食事を提供している。季節の行事や昔ながらの風習を、事業所イベントとして取り組み、楽しく過ごしている。
事業所名	小規模多機能ホーム安岡	管理者	園田 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	0人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・外部評価時には地域の方がかかわりやすいように、分かり易く説明文を追加して外部評価を実施して頂く。	・十分ではないが、外部評価を実施する際に事業所コメントを追記し、評価、実施しやすいように工夫した。	・事業所自己評価の目標達成のハードルを低くして一部実施していたら○でも良いのでは？職員間で、事業所が行っている地域での取り組みが見えないのも原因の1つではないのか。	・代表者、管理者が実施している地域での取り組みを、普段から職員に伝えるように心がけて、事業所自己評価の際に参考にしてもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	・環状2号線沿いに設置している看板を新しくする。	・今年4月に新しく看板を設置した。	・小規模事業所は地域の力を借りないとかやっていけない部分も大きい。積極的に情報発信し、人とのつながりをいかに確保していくかが重要。	・地域の方が、事業所に入りやすく、親しみが持てるように、ブロック塀をフェンスに変えて、事業所内の様子を普段から見えるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	・昨年度、交流を開始した子ども食堂と交流を深める。	・今回新型コロナウイルス感染拡大防止により交流できませんでした。	・事業所近隣「安謝新都心自治会」の皆様、小規模多機能ホーム安岡は知られていないため、今後、アピールしていきたい。	・地域に人を集めるという事ではなく、チラシの配布や看板の設置などを通して、事業所が地域と関わられるような工夫する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・岡野区自治会ミニデイみじゅん会継続して参加し、地域の方との交流する	・新型コロナ禍でミニデイが中断していた期間は参加できなかったが、今年1月～3月、10月以降はみじゅん会に参加し、地域の方と交流した。	・事業所に地域の方をお招きするだけではなく、地域のイベントや行事に積極的に参加するのも良いと思う。	・岡野区自治会や安謝新都心自治会の地域清掃に参加し、地域の方と情報交換する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・登録者以外でも、地域の気になる方を訪問して、那覇市地域包括支援センターと情報交換する。	・今年、3月に地域包括支援センター安謝からの情報で、地域の気になる方をホーム安岡で開催している認知症カフェに参加してもらいましたが、その後、交流、見守り出来ていません。	・地域包括支援センター安謝と随時、情報交換を行い、地域の心配な方の事例検討などを実施したい。 ・運営推進会議で、自治会での活動や、事業所での困りごとなどの情報提供、情報交換をしたい。	・運営推進会議にて、地域との関り通じて、地域の心配な方の情報を提供し、事例検討できるよう工夫する。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進会議の日時に、防災訓練を設定し、運営推進会議メンバー様にも防災訓練に参加して頂く。	・今年7月に実施した防災訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、運営推進会議メンバー様に参加して頂く事は出来ませんでした。	・利用者様や、御家族様に事業所の防災計画は公表していないので公表していきたい。 ・那覇市の防災訓練に参加して防災意識を高める事が必要だと思う。	・運営規定を改定し、台風時の対応を盛り込んだ非常災害対策を追記する。 ・那覇市の防災訓練に参加する